

# 株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

梅雨に入りました。健康と労災面で以下重要と思われれます。

- ・ 熱中症：真夏になってからではなく、体が暑さに慣れていない梅雨時期が意外と危険。
- ・ 転倒・墜落災害：梅雨時期は雨天・水たまり・ぬかるみに伴い労災が増える傾向があると言われる。加えて、生コン車は重量が重く、雨の日は制動距離が伸び、スリップ事故・追突事故・視界不良によるアクシデントがある。

特に管理職の方は、普段より声掛けを増やし、体調変化やメンタル面を早めに把握することが大切です。

馬毛島派遣について、鹿島JVが種子島近くにある無人島の馬毛島に自衛隊の基地を作るという案件に、UBE三菱セメントが太平洋セメント他とともにセメントを競って納入するにあたり、GCから現地生コンプラント（4基）での工場長クラスと品質管理者の人員派遣を求められM U C C 関連事業部が全国の直系生コン会社に声を掛けた事が経緯です。当社はM U C C グループの中でトップバッターとして、25年11月から7カ月（前半を岡田部長と加藤係員、後半を藤岡課長と幸松係員）を受け持ち、この度その任期が満了して派遣者全員が元気に戻ってきました。派遣された方においては、離島での慣れない過酷な環境下で本当にご苦労さまでした。自分の工場とは異なった業務を、キャリアが充分でない他メンバーが多く、色んな会社からの派遣者が頻繁に入れ替わる状態の中で結果をしっかりと残され、かつ、労災・品質・設備等で大きな事故もなく、職場でリーダーシップを取り、チームと個人でよく頑張られた事を評価します。派遣された4人全員は、関西宇部を代表して、MUCCグループを代表して素晴らしかったと思っています。最初に社内で派遣の話を持ち掛けた時に、自分の立場なら、会社から指名されたら、自分のキャリアアップのためにと手を挙げてくれた人が実はかなりの数でおられました。何と逞しい誇らしい皆さんです。まさに誰にも出来ない関西宇部秘伝のスープのひとつ。

最後に戻ってきた両名のコメントを披露します。

＜藤岡課長＞

品質管理・出荷管理・出荷業務・誤納防止管理など多くの業務に携わり、非常に貴重な体験が出来ました。

品質チームの皆さんと同じ釜の飯を食い、共同生活、日々の業務の積み重ねが品質や信頼につながることを実感した。無災害、品質クレームゼロで任務を達成した。

＜幸松係員＞

人員の入れ代わりの多い月もあったが、人に教える難しさを感じながら、上手く業務を指導してきた。最後まで無事故無災害で終わることができ良かった。

普段経験できない国家プロジェクトの任務に携わることができたことを誇りに思う。

健康経営的にも、本人の努力・意識の高さ、周囲の人間関係に恵まれ、に加えて、オンオフの上手なストレスの発散方法や休憩の取り方も見つけられたのでしよう。

**2026.6.10**  
**代表取締役 太田正彦**